

■ 採用後のキャリア形成等

- ・採用区分である国家公務員採用一般職試験（大卒程度）の行政、技術系を区別なく採用しており、配属先や業務内容について、区別していません。
- ・おおむね2～3年ごとに配置転換が行われ、様々な部署を経験していただきます。
- ・東北総合通信局での採用後3年目に、総務本省において業務の経験を積みます（2年間）。これは、総務本省で実際の業務に携わることにより、地方総合通信局の業務とは異なる全国的な視野で実施する政策立案などといった業務を経験するためのものです。
- ・充実した研修制度を用意しており、行政系の業務や技術系の業務に偏ることなく、総合的な能力を身につけることができます。
- ・東北総合通信局職員は、ICTの利活用推進、地域振興、無線局の管理監督など様々な業務を経験し、情報通信行政を担う国家公務員として成長していきます。
キャリア形成の流れは、概ね、以下のようになっています。

【東北総合通信局職員のキャリア形成例】

年齢	概要
入局～係員（20代）	まずは、係員として仕事をこなしながら業務を覚えていきます。また、係員のキャリアとして採用後3年目に総務本省において業務の経験を積みます（2年間）。
係長・専門官に昇任（30代～40代）	係員での経験を生かし、中堅職員として責任ある業務をこなしていきます。上司のサポートや部下の指導も行います。
課長補佐級に昇任（40代～50代）	総務本省が立案した施策について、具体的に業務を実行していく中核となって活躍します。これまでの経験や、知識を生かし課長のサポートや部下の指導にも当たります。
課長級に昇任（50代～）	課室における業務執行の責任あるリーダーとして活躍します。管理職として職場をマネジメントする能力を発揮します。

- ・業務については、最初はわからないことだらけだと思いますが、職場の経験豊富な職員が新規採用職員をしっかりサポートします。